

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 慈愛会
法人本部

令和4年度（2022年度） 社会福祉法人 慈愛会 事業報告書

1 入所定員（現員）、利用者（児）、職員の状態 （令和5年3月31日現在）

区分 施設名	定員	現員	利用者 延人員	利用人員数		職員数	
				入園者	退園者	常勤	非常勤
清心慈愛園	32	24	9,064	12	10	34	1
小規模児童養護施設 歩夢ホーム	6	6	2,142	1	1	6	1
小規模児童養護施設 あおば ひより	12	6	4,380	0	0	10	3
医療福祉センター聖ヨゼフ園	120	113	42,455	4	5	180	26
相談支援センター聖ヨゼフ園	相談受付件数 482 件						
保育所等訪問支援事業所等聖ヨゼフ園	訪問回数 2 回						
清心乳児園 ※ 里親支援機関OHANA・ 母子支援機関Link職員・嘱託医含	20	17	6,975	9	12	46	13
特別養護老人ホーム富の里	50	45	15,745	25	20	26	15
富の里 短期入所サービスセンター	10	—	2,923	—	—	2	2
富の里 デイサービスセンター 介護保険法に基づく第一号事業 <small>（生きがいデイ教室の里デイサービスセンター）</small>	35	—	5,943	—	—	10	6
グループホーム 富の里	18	18	6,228	7	4	14	5
生活支援ハウス 富の里	10	8	2,745	1	1	1	1
糸島市前原西地域包括支援センター	相談受付件数 5,778件 訪問件数 1,069件					10	0
富の里 ケアプランセンター	介護給付 1,132件 予防給付 177件					3	0
富の里ヘルパーステーション	訪問回数 5,889回					3	6
篠原の里	50	45	17,204	8	10	9	4
しのはらの里デイサービスセンター	30	—	5,451	—	—	6	5
デイサービス源藤の里こころ	30	—	4,516	—	—	6	3
小規模多機能ホーム源藤の里こころ	25	18	5,133	—	—	9	1
合計	448	300	130,904	67	63	375	92

2 理事会・評議員会・監事監査等の招集及び開催

R4.5.25	会計監査人とのコミュニケーション（招集通知発出日：R4年4月29日）【集合会議】
6.3	監事監査（招集通知発出日：R4年4月29日）【集合会議】
6.13	令和4年度 第1回理事会（招集通知発出日：R4年5月20日）【集合会議】 <決議事項> 第1号議案 令和3年度慈愛会事業報告（案）について 第2号議案 令和3年度収支決算（案）について 「令和3年度会計監査報告及び監事監査報告」 第3号議案 定時評議員会の招集及び議題等について 第4号議案 諸規程等の一部改正について 第5号議案 令和4年度会計監査人の再任及び報酬等の額について 第6号議案 令和4年度資金運用計画について

	<p><報告事項></p> <p>報告事項1 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R3月～5月）について</p> <p>報告事項2 満期保有目的の債権の運用状況について</p> <p>報告事項3 令和3年度社会福祉充実残額の算定結果について</p>
6.28	<p>定時評議員会（招集通知発出日：R4年6月13日） 【集合・WEB（ハイブリッド）会議】</p> <p><決議事項></p> <p>第1号議案 令和3年度収支決算（案）について 「令和3年度会計監査報告及び監事監査報告」</p> <p><報告事項></p> <p>報告事項1 令和3年度慈愛会事業報告について</p> <p>報告事項2 令和3年度社会福祉充実残額の算定結果について</p> <p>報告事項3 令和4年度会計監査人の再任について</p>
8.30	<p>令和4年度 第2回理事会（招集通知発出日：R4年8月15日） 【WEB会議】</p> <p><決議事項></p> <p>第1号議案 令和3年度補正社会的な重要インフラ自衛的燃料備蓄事業補助金及び令和4年度先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金交付決定に係る聖ヨゼフ園本館非常用発電機及び空調設備工事について</p> <p>第2号議案 令和4年度聖ヨゼフ園第一次収支補正予算（案）について</p> <p>第3号議案 令和4年度第1回臨時評議員会の招集及び議題等について</p> <p>第4号議案 諸規程の一部改正（案）について</p> <p><報告事項></p> <p>報告事項1 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R4年6月～7月）について</p> <p>報告事項2 満期保有目的の債権の運用状況について</p>
9.22	<p>令和4年度 第1回臨時評議員会（招集通知発出日：R4年9月8日） 【WEB会議】</p> <p><決議事項></p> <p>第1号議案 令和3年度補正社会的な重要インフラ自衛的燃料備蓄事業補助金及び令和4年度先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金交付決定に係る聖ヨゼフ園本館非常用発電機及び空調設備工事について</p> <p>第2号議案 令和4年度聖ヨゼフ園第一次収支補正予算（案）について</p>
R5.3.20	<p>令和4年度 第3回理事会（招集通知発出日：R5年2月28日） 【集合会議】</p> <p><決議事項></p> <p>第1号議案 令和4年度収支補正予算（案）の件</p> <p>第2号議案 令和5年度事業計画（案）の件</p> <p>第3号議案 令和5年度収支予算（案）の件</p> <p>第4号議案 令和4年度第2回臨時評議員会の招集の件</p> <p>第5号議案 諸規程等の一部改正（案）の件</p> <p>第6号議案 社会福祉法人役員等賠償責任保険の契約（更新）の件</p> <p>第7号議案 任期満了に伴う第三者委員の選任（再任）の件</p> <p><報告事項></p> <p>報告事項1 養護老人ホーム篠原の里給食業務委託の報告</p> <p>報告事項2 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R4年8月～R5年2月）の報告</p> <p>報告事項3 満期保有目的の債券の運用状況の報告</p>
3.30	<p>令和4年度 第2回臨時評議員会（招集通知発出日：R5年3月21日）</p>

	【集合・WEB (ハイブリッド) 会議】
	<決議事項> 第1号議案 令和4年度収支補正予算(案)について 第2号議案 令和5年度事業計画(案)について 第3号議案 令和5年度収支予算(案)について <報告事項> 報告事項1 社会福祉法人役員等賠償責任保険契約(更新)の報告

3 定款等に関する事項(登記・認可・変更等)

R5.6.28	資産総額の変更登記 令和4年3月31日変更 資産の総額3,761,739,222円
---------	---

4. 会計監査人の業務執行状況

R4.4.6	残高確認状発送手続・実査 【集合会議】
R4.5.24~25	期末監査(期末実証手続) 【集合会議】
R4.5.25	監事意見監査 【集合会議】
R4.6.13	第1回理事会 (令和3年度会計監査報告) 【集合会議】
R4.6.28	定時評議員会 (令和3年度会計監査報告) 【集合・WEB (ハイブリッド) 会議】
R4.12.21~22	期中監査(内部統制の検証・期中取引の実施手続) 【集合会議】

5 事業運営の透明性に関する事項

(1) 社会福祉法人の現況報告書等の届出・公表等(情報公開)

R4.6.20	福岡県へ報告(県福祉総務課監査指導係) 社会福祉法人監査指導要綱に基づく社会福祉法人に対する一般監査周期の延長及び指導監査事項の省略について
R4.7	所轄庁への届出 社会福祉法第59条及び社会福祉法施行規則第9条等の規定に基づき、社会福祉法人の現況報告書等については、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの財務諸表等の入力シート」及び電子ファイル(附属明細書等)を北筑後保健福祉環境事務所へ届出(送信)
R4.7	全国社会福祉法人経営者協議会「法人情報公開ホームページ」の更新 更新内容(現況報告書、財務情報、法人監事監査、所轄庁による法人指導監査、公認会計士等による外部監査、事業計画・報告書等)
R4.7	慈愛会のホームページで公表 定款、現況報告書、財産目録、貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書、事業報告書、事業計画書、監事監査報告書、外部監査報告書、社会福祉施設指導監査結果、役員等報 酬規程、役員等名簿
R4.5.29	消費税及び地方消費税の確定申告 [久留米税務署へ提出]

R5.6.28	令和3年度事業報告書の提出 [独立行政法人福祉医療機構へ提出 (電子申請)]
R4.7.4	公益法人等の損益計算書等の提出 [久留米税務署へ提出]
R4.7.21	令和4年度病院医科施設基準状況実施報告書の提出 [九州厚生局指導監査課へ提出]
R4.8.15	保健医療機関指定申請書 (更新) の提出 [九州厚生局指導監査課]
R4.9.13	生活保護法指定医療機関指定更新申請書の提出 [福岡県知事へ提出]

6 意見要望等 (苦情解決等) による第三者委員会の開催

R4.8.30	<p>第37回 意見要望等受付結果報告 (期間: R4.1.1~R4.6.30) 【WEB会議】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第三者委員 下川 雅文 (障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長) 西原 尚之 (一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表) 法人職員 法人理事長 平田 牧男 (清心慈愛園 統括園長) 法人事務局長 平田 良一 (聖ヨゼフ園 副園長) 法人事務局次長 中村広一郎 意見要望等解決責任者 (1) 平田 哲男 (清心慈愛園 園長) (2) 時村 俊幸 (聖ヨゼフ園 園長) (3) 平田ルリ子 (清心乳児園 園長) (4) 平田 正直 (富の里 園長) (5) 田中 英樹 (篠原の里 園長) 意見・要望等の受付書担当者等 (受付書説明者) (1) 牛島 勲 (清心慈愛園 部長) (2) 原田加代子 (聖ヨゼフ園 看護部長) 受付件数6件 清心慈愛園5件、聖ヨゼフ園1件
R5.2.20	<p>第38回 意見要望等受付結果報告 (期間: R4.7.1~R4年12.31) 【WEB会議】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第三者委員 下川 雅文 (障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長) 西原 尚之 (一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表) 法人職員 法人理事長 平田 牧男 (清心慈愛園 統括園長) 法人常務理事 平田 直之 (富の里短期入所サービスセンター・生活支援ハウス管理者) 法人事務局長 平田 良一 (聖ヨゼフ園 副園長) 法人事務局次長 中村広一郎 (法人事務局次長) 意見要望等解決責任者 (1) 平田 哲男 (清心慈愛園 園長) (2) 時村 俊幸 (聖ヨゼフ園 園長) (3) 平田ルリ子 (清心乳児園 園長) (4) 平田 正直 (富の里 園長) (5) 田中 英樹 (篠原の里 園長) 意見・要望等の受付書担当者等 (受付書説明者) (1) 牛島 勲 (清心慈愛園 主任) (2) 原田加代子 (聖ヨゼフ園 看護部長) (3) 平田美津子 (清心乳児園 副園長) 受付件数 5件 清心慈愛園2件、聖ヨゼフ園1件、清心乳児園2件

7 園長会・運営委員会・各部会事業報告

(1) 園長会

- ア 令和4年4月25日(月) (第242回) 【Zoom会議】
- (ア) 人事管理制度について
 - (イ) 処遇改善補助金について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (オ) 篠原の里投書の件について
 - (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理
 - (キ) 令和4年度慈愛会組織について
 - (ク) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (ケ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
 - ② 令和4年度 障害者雇用納付金制度 申告
- イ 令和4年5月30日(月) (第243回) 【Zoom会議】
- (ア) 人事考課について
 - (イ) 人材確保対策について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (オ) ダブルワーク(兼業)について
 - (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理
 - (キ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (ク) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
- ウ 令和4年6月21日(火) (第244回) 【Zoom会議】
- (ア) 前回園長会議事報告について
 - (イ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (ウ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (エ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
 - ② 法人全体会(令和4年度第1回)
 - ③ 法人全体研修会
 - ④ 外国人雇用に関するプレゼンテーション
 - (オ) 人材確保対策について
 - (カ) 人事考課制度について
 - (キ) 働き方改革について
 - (ク) 法人組織の将来に向けての課題整理
- エ 令和4年7月26日(火) (第245回) 【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策について
 - (イ) 人事考課制度について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (キ) 報告事項
 - ① 第三者委員会提出資料(意見要望等受付書)
 - ② 有価証券の状況
 - ③ 人事考課研修(10月)
 - ④ 子どもの食生活支援に係る緊急助成(全国経営協)
- オ 令和4年8月30日(火) (第246回) 【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策(職員採用試験の状況)について
 - (イ) 働き方改革について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (エ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (カ) 報告事項

- ① 法人ホームページ 更新作業 ② 有価証券の状況
 - ③ 指定法人 更新通知（日本社会事業大学）[指定法人推薦入試制度（専門職大学院）]
 - ④ 第25回社会福祉法人経営青年会全国大会（10月13日・14日 福岡県）
- カ 令和4年9月27日（火）（第247回）【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策（職員採用試験の状況）について
 - (イ) 働き方改革について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (エ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (カ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況 ② 法人組織（法人運営委員会） ③ 台風14号被災状況
 - ④ 令和4年度 人事考課制度に関する研修会（新任[非正規][正規]）【10/6】
 - ⑤ 令和4年度 新任職員中間フォローアップ研修会【10/24】
 - ⑥ 第6回 令和4年度 法人リーダー研修会【11/16-17】
 - ⑦ 第24回 法人全体研修会【11/22】
- キ 令和4年10月25日（火）（第248回）【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策（職員採用試験の状況）について
 - (イ) 働き方改革について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (エ) 法人経営方針（策定）について
 - (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (キ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況 ② 国際交流支援活動会員 登録継続依頼（全社協）
 - ③ 法人全体研修会（永年勤続表彰） ④ 前水城理事 寄付金について
 - ⑤ 社会福祉法人 南城山学園の来訪 ⑥ 法人新任職員フォローアップ研修の講師等
- ク 令和4年11月24日（木）（第249回）【Zoom会議】
- (ア) 人事考課制度について
 - (イ) 人材確保対策（職員採用試験の状況）について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (オ) 寄付依頼（久留米大学医学部皮膚科学教室）について
 - (カ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (キ) 法人経営方針（策定）について
 - (ク) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (ケ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況 ② 職員の休職の取り扱い ③ 年賀状の取り扱い
 - ④ 本年度末 当法人 役員会等の日程について
- ケ 令和4年12月29日（木）（第250回）【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策（職員採用試験の状況・人事事務専任設置）について
 - (イ) 働き方改革について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
 - (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (オ) 社会福祉施設における虐待事案について
 - (カ) 物価高騰・食材料費含む対策について
 - (キ) 法人経営方針（策定）について
 - (ク) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (ケ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況 ② 聖ヨゼフ園における非常勤医師（嘱託医師・当直医師）の状況

- ③ 清心乳児園職員の事案 ④ 新型コロナ感染対応に伴う職員への感謝（弁当の配布）
- コ 令和5年1月30日（月）（第251回）【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策（職員採用試験の状況・人事事務専任設置）について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (オ) 法人経営方針（策定）について
- (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (キ) 甲斐田弁護士との会議（1月25日）について
- (ク) 報告事項
- ① 有価証券の状況 ② 第2回法人全体会
- ③ 令和5年度法人職員事前研修会 ④ 第三者委員会（2月20日）
- ⑤ 2022年度第2次補正予算及び2023年度予算（事業計画）
- サ 令和5年2月20日（月）（第252回）【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策（職員採用試験の状況・人事事務専任設置）について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (オ) 法人経営方針（策定）について
- (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (キ) 事業所内保育所「きっずるーむあいあい」の運営について
- (ク) 報告事項
- ① 有価証券の状況 ② 第2回法人全体会 ③ 令和5年度法人職員事前研修会
- ④ ウクライナの子どもたちへの募金のお願ひ ⑤ 令和5年度辞令交付式
- ⑥ 清心乳児園（[里親支援機関OHANA]）における不適切事案について
- シ 令和5年3月27日（月）（第253回）【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策（職員採用試験の状況・人事事務専任設置）について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (カ) 報告事項
- ① 有価証券の状況 ② 令和5年度辞令交付式（確認）
- ③ 令和4年度 第2回法人全体会（報告）
- ④ アジア社会福祉従事者研修の再開のお知らせ及び協力のお願ひ（全社協）
- ⑤ 令和4年度第2回評議員会 ⑥ 清心慈愛園 採用内定者の所在不明（連絡無し）

(2) 法人運営委員会（2022年度（令和4年度）事業報告）

ア 会議開催（12回）

第1回	4月10日	第2回	5月8日	第3回	6月12日	第4回	7月10日
第5回	8月14日	第6回	9月11日	第7回	10月16日	第8回	11月13日
第9回	12月11日	第10回	1月15日	第11回	2月5日	第12回	3月7日

イ 法人理念の周知と実践

(ア) キャリアデザインハンドブックの研修等への活用

(イ) 公益的な取り組みの遂行と取りまとめ

① 社会福祉制度改革へ対応について

法人運営委員会の冒頭に常務理事よりこれからの社会福祉法人の在り方、我が国の福祉政策について、情報提供いただき、委員と共有した。特に、人口減少社会の中で人材不足の課題に対し社会福祉法人間の連携・協業化・ネットワーク化や、環境変化に対応する事業転換の必要性また

介護福祉人材の確保などについて共有した。

ウ 法人将来構想の展望

(ア)「糸島宮崎地区」「大刀洗地区」の各地区で1回/月将来構想委員会を開催し、社会福祉制度改革及び我が事丸ごと地域共生社会の実現を踏まえ法人運営委員会にて進捗状況等の情報共有に努めた。

- ① 糸島・宮崎地区の主な検討
 - ・ライフレスキュー事業の展開
 - ・自立支援に向けたリハ職との連携のあり方の検討
 - ・地域包括ケアシステム推進に関わる連携やネットワークの構築検討※新型コロナウイルス感染症の流行等にて十分に議論できる状況ではなかった。
- ② 「大刀洗地区」
 - ・慈愛園・乳児園新設計画・地域支援事業の推進
 - ・大刀洗町との意見交換会（新型コロナウイルス感染症にて当面見合わせ）
 - ・年末のおせち料理の配食
 - ・買い物移動支援（毎週金曜日鳥飼公民館⇄農協・A コープ）※新型コロナウイルス感染症の流行等にて十分に議論できる状況ではなかった。

(イ) 新慈愛会ビジョンの活用

- ① 12月10日をめどに各施設で実践のポイントの確認を行い、次年度の事業計画へ反映させる。
- ② 振り返りを通して追加の必要な項目は追加することとした。

エ 情報の保護、情報の開示と共有化

(ア) 財務諸表等の開示

(イ) 情報の共有化の推進（全施設）：委員会での情報共有と法人共有フォルダの活用

(ウ) 各施設個人情報保護推進委員会の報告

オ 慈愛会経営組織の充実

(ア) 人事考課制度の継続

(イ) 働き方改革への対応

- ① 就業規則の改訂
- ② 同一労働同一賃金への対応
- ③ 勤怠管理ソフト導入における調整

(ウ) 研修体系構築について（法人研修部会と協力）

4月	考課者研修・新任職員人事考課研修
5月	令和3年度分新任職員フォローアップ研修
6月	中堅職員ステップアップ研修
9月	初任者研修
10月	人事考課研修 新任職員中間フォローアップ研修
11月	リーダー研修 法人全体研修会
1月	新任職員サポーター研修：令和4年4
2月	新任職員フォローアップ研修
3月	新任職員（事前）研修

※新任職員事前研修について

本年度は、久留米リサーチパークおよびホテルニュープラザ久留米にて対面で実施。

カ 安全管理体制の強化

(ア) 感染対策

- ① 各施設において新型コロナウイルス感染症が発症シクラスターとなったところもあった。また、家庭内で濃厚接触となったり、学校休業における職員不足が発生するなど対応に追われた。毎回、各施設からの状況報告を行い、情報共有を図った。令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の感染症分類5類への引き下げに伴い感染対策の見直しを進め法人内で共有した。
- ② インフルエンザやノロウイルスなど感染状況について各施設が定期的に報告し、情報の共有を継続した。

- ③ 小学校等休業における補助金について確認
- (イ) 風水害対策
 - ① 各施設における災害対策および職員の行動指針について、リスクマネジメント部会を中心に確認、法人内施設で共有し、アップデートした。
- (ウ) 安全管理体制の強化
 - ① 福岡県災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画と情報共有
- キ 人材確保
 - (ア) 専門部署の設置について
 - ① 総合職の求人を出したが採用に至らず内部登用することとなり、希望者を募った。結果、希望者は集まったが、専門部署については検討となった。
 - (イ) 外国人労働者雇用について
 - ① 7月25日に業者のプレゼンを実施した。
 - i ONODERA（15:30～）
 - ii ASOヒューマニーセンター（16:15～）
 - iii HRパートナーズ
 現在のところ国内で採用ができており、必要に応じて業者に依頼することとなった。
それまでは各委員、情報収集に努めることとなった。
- ※ 人材確保プロジェクト会議（年度内10回開催）
 - 第1回会議[5月23日] ・第2回会議[5月31日] ・第3回会議[7月7日] ・第4回会議[10月4日] ・
 - 第5回会議[10月28日] ・第6回会議[11月25日] ・第7回会議[12月7日] ・第8回会議[12月23日] ・
 - 第9回会議[2月2日] ・第10回会議[3月6日] ・第11回会議[4月21日]

(3) 法人全体会（H9.9.1 設置）（2022年度（令和4年度）事業報告）

- ア 令和4年7月11日（参加職員55名）
 - (ア) 理事長挨拶
 - (イ) 法人組織及び委員紹介（異動者）
 - (ウ) 令和3年度事業報告（各施設代表者）
 - ① 各施設事業報告（理事会報告資料から）
 - ② 法人運営委員会及び専門部会 活動報告・説明
- イ 令和5年3月8日（参加職員69名）
 - (ア) 理事長挨拶 ※ 全社協研修生 現場研修等のお礼
 - (イ) 法人組織及び委員紹介（異動者）
 - (ウ) 重要課題説明 常務理事 平田直之
 - ① 「2023年度 経営方針（前文（めざす方向）」
 - ② 「社会福祉施設における虐待・権利侵害根絶に向けて」
 - (エ) 2023年度 事業計画の概要
 - ① 法人運営委員会・各専門部会の取り組み
 - ② 各施設の取り組み（各施設事業計画）

(4) 法人全体研修部会 報告（2022年度（令和4年度）事業報告）

- ア 令和4年度の方向性
 - (ア) 研修部会主催研修の充実と目的の明確化
 - (イ) コロナ禍における法人研修体系構築の推進と専門部会の連携
 - (ウ) 施設内外研修の充実と連携
 - (エ) コロナ禍における研修成果物の活用
- イ 具体的方策と具体的取組
 - (ア) 研修部会主催研修の充実と目的の明確化
 - ① 研修部会主催研修の充実

- i 法人新任職員研修の目的・内容の整理と講師とすり合わせ
 - ii 法人新任職員研修にて使用しているEQSの研修部会内での理解促進
 - iii 法人全体研修会の開催に向けての開催方法の検討
- (イ) コロナ禍における法人研修体系構築の推進と専門部会との連携
- ① キャリアパスステージ別「法人研修」の推進と新講師との連携
 - i 人材育成としての意識の醸成と目的の明確化
 - ii 法人研修体系プロジェクトチームと法人研修部会の連携
 - ② 専門部会（栄養士部会、接遇向上委員会、感染症予防委員会）との連携を図る
 - i 各専門部会との連携推進
 - ii 栄養士部会研修会と活動の充実
- (ウ) 施設内外研修の充実と連携
- ① 各施設での研修充実に向け事業計画での研修企画との共有を図る
 - i 各施設内外の研修の充実
 - ii 各施設の研修支援、ノウハウの共有
- (エ) コロナ禍における研修成果物の共有と活用
- ① コロナ禍においても研修内容の充実を図り、成果物を活用していく
 - i ズームを活用した研修の実施と問題点の改善
 - ii ズーム研修での成果物の積極的活用

ウ 法人研修の実施状況

(1) 令和4年度 新任職員事前研修会	令和4年3月19日～20日 オンライン研修（各会場）（自宅）
(2) 考課者研修・新任職員人事考課研修	令和4年4月5日 10月6日 聖ヨゼフ園・糸島・宮崎地区 オンラインにて実施
(3) 法人初任者研修①	令和4年9月14～15日 オンライン研修（各会場）
(4) 法人全体会	令和4年7月11日 令和5年3月7日（オンライン実施）
(5) 法人中堅職員ステップアップ研修	令和4年6月23～24日 集合研修（聖ヨゼフ園会議室）
(6) 法人リーダー研修	令和4年11月16～17日 オンライン研修（各会場）
(7) 新任職員中間フォローアップ研修	令和4年10月24日 オンライン研修（各会場）
(8) 法人全体研修会	令和4年11月22日 オンラインにて実施
(9) 新任職員サポーター研修	令和5年1月31日 オンライン研修（各会場）
(10) 新任職員フォローアップ研修会	令和5年2月11日 オンライン研修（各会場）
(11) 令和5年度 新任職員事前研修会	令和5年3月25～27日 集合研修（外部会場にて実施）

エ 具体的方策に対する取り組み報告

- (ア) コロナ禍の影響にて、オンライン研修が中心となり3年となる。これまで培ったノウハウを生かしオンラインでの研修においても、継続して充実・発展しながら実施することができている。
- 今年度の目標であった3年ぶりの法人全体研修の開催においては、短時間・オンラインでの開催であったが、永年勤続表彰・常務理事の講和・各施設からの事例報告を実施する事ができ、参加された職員からも好評の声を多く頂く事ができた。また、3月実施の新任職員事前研修会においては、集合研修での開催、法人各施設の見学を実施できた事は大きな成果であった。受講された新職員の方達からも、「新任職員同士の交流ができた」「各施設の実際の現場を見る事で、施設理解が深まった」と評価の声を頂いている。
- (イ) 「キャリアパスステージ別法人研修」においては、今度新たに法人内講師になった職員へ法人事務局や他法人内講師と連携し、支援する事ができ、スムーズな実施へと繋がった。
- (ウ) 各施設の研修ノウハウの共有においては、継続して、各施設の研修取組紹介を実施。法人間で一巡する事ができた。今後は、共有した内容をそれぞれの施設で活かしていく。
- (エ) オンライン研修については、昨年同様、問題点・課題がある際は随時改善ができている。また、法人研修部会メンバーも会場での参加者への技術的フォローに努めた事で、スムーズな研修の実施に繋がった。成果物についても適宜活用できている。

オ 今後の課題

(ア) オンライン研修を行うようになって3年、法人部会メンバーや参加者もパソコンの操作に慣れ、スムーズな実施ができるようになってきているが、臨場感や交流の課題にて集合研修での開催を実施して欲しいとの声も高まってきた年度であった。この3年間で職員間の交流が激減したことから、職員間相互理解や同期同志の仲間意識の減退等感じられる。その点においては、3月に新任職員事前研修会を集合研修で開催できた事は大きな成果であった。来年度については、コロナ感染状況を鑑みながら、他研修においても職員同士が交流できるような研修会の企画実施を計画していきたい。

昨年度に引き続き、研修の内容については、講師陣とのやり取りを密に行い、内容の検討・共有を年間を通し実施できた。その中で学卒新卒者と職務経験がある中途採用者との研修内容を行っている事への課題が提起され、中途採用者へのフォローアップが必要との助言も頂いている。来年度において中途採用者向けの新たな研修内容を立案予定としている。また、新任研修で実施しているEQSにおいて施設間の数値の違いや特徴が見られた為、講師陣と連携し施設へのフィードバックを行った。今後はより課題を明確化し、各施設でより良い改善が行えるようなフィードバックへ努めていく。

今後も現在の研修体系を基盤としながらも、研修のあり方・目的の議論を活発にし、「法人が目指す職員像に基づき、能力開発ができるような研修」に向けて、工夫・発展に努めていく。

(5) 法人サービス評価部会 (2022年度(令和4年度)事業報告)

ア 令和4年度の活動方針

(ア) 令和4年度の法人サービス評価部会は、「慈愛会ビジョン2025」の「1 人権の尊重」「2 サービスの質の向上」および「2022年度 慈愛会 経営方針」に則り、サービスの質を更に向上させることを目指して共通の取組みや情報交換を行っていく。

(イ) 法人内利用者相互交流事業や法人内施設相互見学事業の企画・実施に向けて取り組む。

(ウ) 法人接遇向上委員会の活動と連携を図り、支援する。

イ 具体的方策への取り組み

(ア) 養育・支援の質の向上

昨年に引き続き、法人内利用者間相互交流事業として清心慈愛園の子どもと職員が壁画やカレンダーを作成して9～11月に子どもと職員の代表者が法人内全施設へ届けに行った。大変喜んでいただき、利用者さんが目に付く場所に飾っている。お礼としてお菓子をいただいたり、利用者さんと交流したり、作品をいただいたり昨年より1歩進んだ利用者間交流になった。

活動を企画していた令和2～3年度に入職した法人内施設見学、法人内の地域の公益的な取組みへの参加については新型コロナウイルスの影響により未実施になった。令和2～4年に入職した職員は法人新任職員事前研修がZOOMだったため法人内施設見学が出来ていない。令和5年度入職職員はすでに法人内施設見学を行っているので令和5年度は最優先に取り組んでいく。

(イ) 利用者の権利擁護への取り組み

各施設の委員会による虐待防止への取り組みや園内研修の実施、虐待防止のセルフチェックの実施、外部講師を招いての研修、虐待防止のスローガン・行動宣言の唱和、倫理規定・認知症についてビデオや資料の読み合わせ、児童相談所と子どもの面接等利用者の権利擁護とサービスの質の向上に取り組んだ。

(ウ) サービスの評価に関する取り組み

第三者評価への取り組みについては法人内施設で第三者評価を受審する施設がなかったが、各施設課題改善に取り組んだ。部会としてはマニュアルの新規作成・見直し時参考に出来るように各施設にあるマニュアルを一覧表にして情報を共有した。

(エ) 接遇向上委員会の充実

法人内職員の接遇意識の向上を目的として、法人共通の接遇目標(10月:伝えたいあたたかい気持ち柔らかな笑顔 3月:見ているだけ気持ち伝わるあなたの仕草と姿勢から)や職員インタビューを掲載した広報誌(接遇ニュース)を年2回作成して各施設に掲示した。

また、法人内全施設で9月に接遇自己チェックの実施・集計と法人共通の設問になっているので

見直しを実施した。接遇自己チェックの集計結果として「出来ている」という項目が増えており、法人全体として接遇の意識が向上している。

近年、法人新任事前研修での接遇講習が出来ていないので令和5年度は各施設で活用出来る学習素材の作成を検討していく。

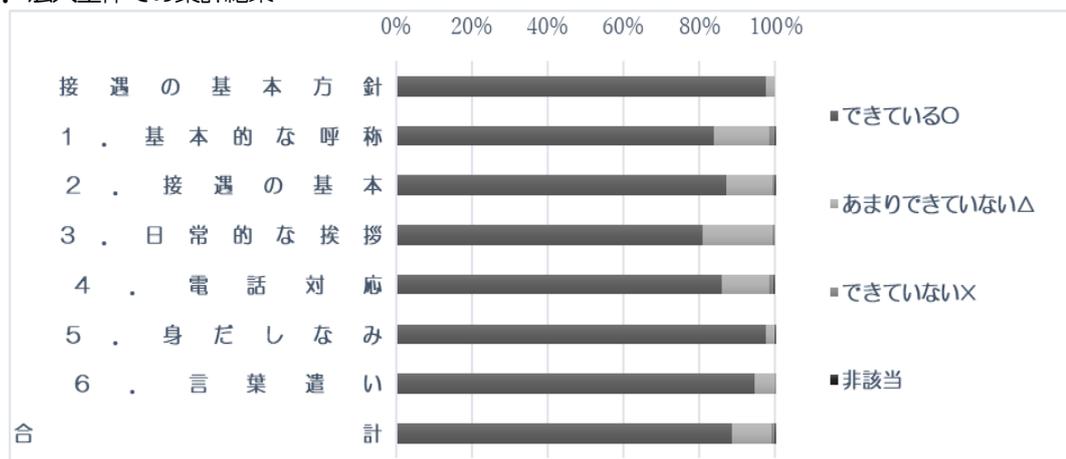
【接遇自己チェック集計結果報告】

1. 実施年月：2022年9月

2. 実施した法人職員数：413名

清心慈愛園 47 清心乳児園 56 聖ヨゼフ園 180 富の里 86 篠原の里 25 こころ 19

3. 法人全体での集計結果



4. 前年との比較 ()は2021年

	出来ている	あまりできていない	できていない	非該当
接遇の基本方針	98% (65%)	2% (34%)	0% (1%)	0%
1. 基本的な呼称	84% (55%)	15% (39%)	1% (6%)	0%
2. 接遇の基本	87% (50%)	12% (46%)	1% (4%)	0%
3. 日常的な挨拶	81% (46%)	18% (48%)	1% (5%)	0%
4. 電話対応	86% (48%)	12% (46%)	1% (5%)	1% (1%)
5. 身だしなみ	98% (68%)	2% (31%)	0% (1%)	0%
6. 言葉遣い	95% (52%)	5% (47%)	0% (1%)	0%
合計	88% (52%)	11% (44%)	1% (4%)	0%

(6) 法人リスクマネジメント部会 (2022年度(令和4年度)事業報告)

ア 目的

この部会は、各施設にリスクマネジメント理論を適用し、リスクマネジメントの基本的な考え方や具体的な組織のあり方を調査研究する。

イ 令和4年度の具体的な取り組み

当部会では、ハード・ソフト・環境面の相互関係をより重視したリスクの洗い出し、再発防止策はもちろん「未然防止策」に力を入れリスクマネジメント体制の充実を図り、「PDCA」サイクルによる取り組みを継続実施した。

(ア) リスクマネジメントの充実

- i 総合的リスクに対する対応方法の検討
 - ・ 特にサービス提供、災害、事故を現場におけるリスクとして捉え検証し、必要に応じて、法人運営委員会に提案した。
 - ・ 各施設事故防止委員会等で定期的な検討
- ii リスクマネージャーの育成とシステム化
 - ・ 今後も各施設において計画に沿った養成の継続。
- iii 感染症対策の充実(感染症対策委員会の取り組み)

iii かわら版第14号掲載内容

- おせち料理の提供（清心慈愛園・清心乳児園・聖ヨゼフ園）
- おはなし会（清心慈愛園）
- 下校時の安全・安心見守り隊（篠原の里）
- ボランティアさんに感謝を込めて（清心乳児園）
- 小学校との交流会（富の里）
- 小・中学校の皆さんとの交流（源藤の里こころ）

イ 法人の経営方針等をもとに、各施設の『社会・地域における公益的な取り組み』を下記に示す

下記（ア）～（キ）のイメージのもと、現在既に実施していること、計画・案等について、これから取り組む予定の分類作業を実施。

- （ア）自己財源による社会福祉事業の実施
- （イ）実施している社会福祉事業を受け皿として公益的な活動
- （ウ）実施している社会福祉事業の延長上（周辺）の公益的は活動・地域の人びと等を対象とした活動
- （エ）定款記載の公益事業のなかでも自己財源による事業
- （オ）地域福祉・社会福祉の向上に向けた活動
- （カ）ノウハウや経験・専門人材や施設・設備を活かした取り組み
- （キ）その他の取り組み

ウ 法人の「社会・地域における公益的な取り組み」について「イ」で分類した取り組みを下記要項で整理作業を実施。

- （ア）取り組み名、実施施設、活動内容、開始年月日を記載。
- （イ）「現況報告書」の取り組み分類コード類型に応じた以下の9項目に分類。
- （ウ）地域の要支援者に対する相談支援
- （エ）地域の要支援者に対する配食・見守り・移動支援等の生活支援
- （オ）地域の要支援者に対する権利擁護支援
- （カ）地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- （キ）既存事業の利用料の減額・免除
- （ク）地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- （ケ）地域住民に対する福祉教育
- （コ）地域の関係者とのネットワークづくり
- （サ）その他

エ 情報共有

- （ア）コロナ禍での各施設の取組み（日中活動・地域における公益的取組み・ボランティア等）について、各施設での実施状況や、実施に向けた課題や工夫などの情報を共有した。

(8) 法人感染対策部会（2022年度（令和4年度）事業報告）

【本部会は法人内施設の看護職が中心となり感染症対策の推進のため、法人リスクマネジメント部会から独立】

ア 目的

法人内施設の感染症の発生等における情報の共有および相談を受けて対策について、検討助言を行う。また、感染対策に必要な物品の備蓄を行う。

イ 会議開催日と方法

（ア）第1回：7月8日 第2回：12月1日 第3回：2月20日

（イ）方法：オンライン

ウ 内容

- （ア）感染症対策の強化と徹底
 - i 感染症の予防・拡大防止のためのマニュアルは全施設整備されていた。しかし、見直しは毎年～2019年以降（一部変更あり：新型コロナウイルス感染症について追加）見直しがない施設があった。
 - ii 個人防護具や消毒薬などの備蓄状況の調査を行い、不足している施設はなかった。しかし、感染流行期や拡大期において福祉施設は不足する状況があった。そのため、聖ヨゼフ園の取引業者

(IT1)を紹介し、福岡支社と直接取引ができるようになった。

- iii 感染拡大防止のためのゾーニング等の対応については、マニュアルに記載されていない施設があった。また、居室が多床室・個室を有しているなど施設による違い、利用者の特性で隔離ができないためウィルスの暴露が起った、施設の構造上の問題など様々な状況があった。そのため、ゾーニングについて明記されていても状況により変更が必要になった施設があった。

(イ) 新型コロナ感染症発生について

- i 法人内6施設中4施設において、利用者に発症しクラスターが発生した。その際、担当者から関係機関の行政・保健所医療機関との連携により予防対策・感染者発生時の対応方法の相談や助言・指導等を受けることができた。
- ii クラスター発生時は職員も感染し、支援者が減った。サービスの質の低下に繋がらないよう計画する。特に食事の提供方法や回数については検討が必要であった。
- iii 感染性廃棄物の処理では、聖ヨゼフ園は病院であるため医療廃棄物の感染性廃棄物として処理した。他施設は家庭ごみとして2重ビニール袋に入れ3日間外に放置後、一般ごみで処理した。

(ウ) 情報の共有について

- i 各施設間での感染症発生の情報共有のため、法人共有ネットワーク：感染症発生レポートの入力を行っているが一部の施設では活用できていないため今後も継続して入力を勧める。
- ii コロナ発生報告のフォーマットの統一の推進：聖ヨゼフ園が使用する様式への入力。(陽性者の人数、待機期間が明確になるなど、一目で把握が出来る。)

(エ) 今年度の重点課題について

- i 「医療機関でもある医療福祉センター聖ヨゼフ園の感染対策チームによる、法人内施設への基本的な標準予防対策と経路別感染対策の研修を計画していたが、新型コロナウィルス感染症の拡大及び各施設においてクラスターが発生したため実施できなかった。また、R5年5月8日から2類から5類に引き下げられたことから、感染対策の理解と確実な個人防護具の着脱などの習得の重要性が高まった。新型コロナ感染症のクラスターが発生し、この経験を有効に活用できるよう活動していく。

(9) 法人心理士会 【2022年度(令和4年度)事業報告】

ア 情報交換・勉強会(全12回開催)

- (ア) 定例会議の実施：情報交換(事例・心理業務・研修他)他
- (イ) 勉強会：各施設の心理業務・園内研修等での講義メニュー・心理士による地域支援
- (ウ) 法人内スーパービジョン：検査所見・困難事例 他
- (エ) 令和5年度の検討事項：清心慈愛園の園内研修依頼・大刀洗町のWICS 依頼

イ 新任心理職のサポート体制の整備と実施

- (ア) 日常業務や定例会議を通じて、随時実施した。

ウ 園内研修等への講師派遣(法人内)

- (ア) 令和4年度中の依頼なし
- (イ) 令和5年度での派遣依頼について検討を実施(清心慈愛園)

エ 地域住民を対象とした心理支援の検討・実施

- (ア) 大刀洗町親子教室
 - i 発達の遅れが気になる幼児および保護者への個別相談及び集団指導

オ 地域支援に関する外部研修への参加

- (ア) 筑後いすみ園への見学

カ 心理的緊急支援の実施

- (ア) 法人内施設関係者の急逝を受けて実施(R4年7月~12月)
 - i 職員に対する語る場の提供・心理教育の実施
 - ii 『清心乳児園 心理的緊急支援 中間報告書』完成(主管園長・法人事務局へ提出)

(10) 法人倫理委員会

開催日	令和4年 4月25日	職員からの臨床研究倫理審査 [個人情報保護推進委員会]	3件(承認3件)
	令和4年 5月30日		
	令和4年 11月24日	職員からの臨床研究倫理審査	1件(承認1件)
令和4年度内計			4件(承認4件)
職員からの臨床研究倫理審査【H26.3.3~】 申請累計55件(承認55件)			

※ 個人情報保護推進委員会【法人内(各施設)個人情報の取り扱いの確認】 年度内1回

(11) 災害時の連携・支援による覚書 R3.2.20 締結(日本福祉大学・連携社会福祉法人)

8 キャリアステージ対応の職員研修の実施

(1) 人事考課制度関係研修会

H17年度から導入した人事考課制度は、より良い運用のため各種取り組みを行った。

ア 考課者研修会

新任考課者研修 [テレビ会議]	令和4年 4月 5日	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 富の里・篠原の里	【計19名】
--------------------	------------	-------------------------------	--------

イ 新任職員研修会

新任職員研修(正規職員)	令和4年 4月 5日	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 富の里・篠原の里	【計29名】
新任職員研修(非正規職員)	令和4年 10月 6日	清心乳児園・聖ヨゼフ園・富の里	【計5名】
新任職員研修(正規職員)	令和4年 10月 6日	聖ヨゼフ園・清心乳児園・富の里・こころ	【計8名】

ウ 昇給ガイドラインコンサル

令和4年6月2日(木)

エ 今後の継続的課題

- (ア) 考課者育成を充分に行い、人事管理で大切な「人材を育てる仕組み作り」を推進
- (イ) 研修体系と整合性を取った人事考課制度の運用
- (ウ) 人事考課制度の目的や必要性についての職員への理解促進の徹底

(2) 初任者研修会(通算参加者181名)

第6回 令和4年9月14日~15日 WEB開催(Zoom) 参加31名

(3) リーダー研修会(通算参加者92名)

第6回 令和4年11月16日~17日 WEB開催(Zoom) 参加22名

(4) 中堅職員ステップアップ研修会(通算参加者200名)

第9回 令和4年6月23日~24日 集合(聖ヨゼフ園会議室) 参加9名

(5) 新任職員フォローアップ研修

ア 第14回 令和4年 新任職員中間フォローアップ研修

令和4年10月24日 WEB開催(Zoom) 参加36名 体験談発表者5名

イ 第25回 新任職員フォローアップ研修

令和5年2月21日 WEB開催(Zoom) 参加34名

(6) マネジメント研修会

(H28年度・H30年度~令和4年度は、対象者数等から判断し実施見送り)

H27年度~H29年度の参加者(通算20名)

(7) 法人全体研修会

- ア 第24回法人全体研修会
令和4年11月22日(火) WEB開催 (Zoom・TV会議) 参加者 法人内6施設職員166名

(8) 新任職員サポーター研修会(「新任職員サポート制度指針」使用)(通算250名)

- ア 12回 令和4年度 新任職員サポーター研修会
令和5年1月31日(火) 参加26名

(9) 新任職員事前研修

- 第24回 令和4年度 法人新任職員事前研修
(新規採用者:自宅からZoom参加)(中途採用者:4拠点(清心慈愛園・聖ヨゼフ園・富の里・源藤の里こころ)から参加)
令和4年3月19日(土)・20日(日) 参加40名

9 地域における公益的な取組

(1) 生計困難者に対する相談支援事業の実施

- ア 定款変更(認可日) 平成29年11月15日
(ア) 事業目的に「生計困難者に対する相談支援事業の経営(第二種社会福祉事業)」を追加
- イ 事業名
(ア) ふくおかライフレスキュー事業
(イ) みやざき安心セーフティネット事業
- ウ サポーター研修受講者(令和5年3月31日現在) 16名
[清心慈愛園4名・聖ヨゼフ園5名・清心乳児園1名・富の里4名・篠原の里2名]
※サポーター研修受講者 令和4年度(澁田 永一)
- エ 活動実績(令和4年度)

- (ア) 糸島地区(養護老人ホーム篠原の里)
[支援中の案件0件] [支援金額0円] [支援最終結数0件]

① ふくおかライフレスキュー事業 糸島地区連絡会

	期日	項目	内容	参加数
1	4月22日	第40回糸島地区連絡会 (主催:福岡県老人福祉施設経営協議会)	個別支援新状況の確認 災害派遣福祉チーム(D-WAT)	2
2	6月10日	第41回糸島地区連絡会 (主催:福岡県老人福祉施設経営協議会)	個別支援状況の確認 重層的支援体制整備事業	2
3	8月25日	第42回糸島地区連絡会 (主催:福岡県老人福祉施設経営協議会)	個別支援状況の確認	1
4	10月14日	第43回糸島地区連絡会 (主催:福岡県老人福祉施設経営協議会)	個別支援状況の確認 中間的就労の事例検討①	2
5	12月16日	第44回糸島地区連絡会 (主催:福岡県老人福祉施設経営協議会)	個別支援状況の確認 中間的就労事例検討②	1
6	2月17日	第45回糸島地区連絡会 (主催:福岡県老人福祉施設経営協議会)	個別支援状況の確認 セブンイレブンジャパン寄贈品 イオン九州寄贈品	1
延べ参加回数				9

(2) 福祉教育・地域福祉等

- ア 職員派遣 法人事務局・聖ヨゼフ園 2件
(ア) 令和4年7月8日 大刀洗町立菊地小学校 福祉教育
(法人事務局職員2名、聖ヨゼフ園職員4名派遣)
- (イ) 令和4年11月2・7・11日 大刀洗町立本郷小学校 福祉教育
(聖ヨゼフ園職員4名派遣)

イ 町内社会福祉法人情報交換会への参加

(ア) 令和4年6月7日

- i 前年度事業報告・今年度事業計画、今後の活動方針の確認
- ii 災害対応（行政との連携）の検討

10 法人ホームページの運営 掲載画面 再構築（令和3年3月19日公開）

11 事業所内保育所（きっずるーむ あいあい）

(1) 許認可等

ア 平成25年12月27日（福岡県の「事業所内保育施設運営計画」認定決定通知 受領）

イ 平成26年1月17日（福岡県あて「認可外保育施設設置届出」提出）

(2) 事業開始 平成26年1月6日

(3) 管理運営責任者 株式会社アイگران（広島市西区庚午中1-7-24）

(4) 保育施設

ア 医療福祉センター聖ヨゼフ園3階73.62㎡

（保育室15.90㎡、乳児室25.66㎡、便所1.33㎡、調理室5.65㎡、その他（事務室等）25.08㎡）

イ 保育実績 2022年度 延べ1,147名

（2021年度 延べ1,494名 2020年度 延べ1,929名 2019年度 延べ1,644名）

12 全国社会福祉協議会との職員研修事業

(1) 令和2年度

ア 全社協への研修派遣 1名（清心乳児園所属職員）

イ 全社協（総務部所属）から研修受入 1名

(2) 令和3年度

ア 全社協（国際部所属）から研修受入 1名

13 国際貢献事業

(1) アジア社会福祉従事者研修生（全国社会福祉協議会）受入状況

第30期	1名	平成25年9月12日 ～平成26年1月24日	フィリピン	ホスピオ デ サンホセ	ソーシャルワーカー（女性）
第31期	1名	平成26年9月22日 ～平成27年1月21日	スリランカ	ネセック財団	ソーシャルワーカー（男性）
第32期	1名	平成27年9月29日 ～平成28年1月22日	フィリピン	ネオシモ財団	ソーシャルワーカー（女性）
第35期	1名	平成30年10月8日 ～平成31年1月18日	大韓民国	ナレウル グループホーム	ソーシャルワーカー（女性）
第36期	1名	令和元年10月7日 ～令和2年1月17日	台湾	桃園家庭扶助 センター	ソーシャルワーカー（女性）

(2) 韓国学生日本社会福祉研修受入状況

第1期生	16名	2000年7月17日～7月24日 (8日間)	韓世大学
第2期生	17名	2001年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学
第3期生	18名	2004年1月26日～2月2日 (8日間)	韓世大学
第4期生	17名	2004年8月1日～8月8日 (8日間)	韓世大学、江南大学、水原女子大学、天安大学、 大真大学、新吉総合福祉館

第5期生	17名	2005年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学、江南大学、天安大学、新吉総合福祉館
第6期生	18名	2006年7月30日～8月7日 (9日間)	韓世大学、江南大学、聖潔大学、淑明大学、新吉総合福祉館
第7期生	18名	2007年7月30日～8月6日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、ルーテル大学、新吉総合福祉館
第8期生	17名	2008年7月28日～8月4日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、韓国デジタル大学、新吉総合福祉館、同志社大学
第9期生	19名	2010年7月26日～8月2日 (8日間)	崇実大学、全北大学、江南大学、ルーテル大学、九鳳福祉財団、新吉福祉館
第10期生	19名	2011年8月1日～8月8日 (8日間)	木浦大学、江南大学、韓世大学、全北大学、カトリック大学、白石大学、新吉福祉館
第11期生	19名	2012年7月31日～8月7日 (8日間)	崇実大学、江南大学、韓世大学、全北大学、新吉福祉館
第12期生	16名	2014年8月4日～8月11日 (8日間)	新吉福祉館、江南大、又松大、南ソウル大、全北大、崇實大、ルター大
第13期生	20名	2016年8月1日～8月8日 (8日間)	祥明大、江南大、又松大、三育大、水原女子大、建国大、南ソウル大
第14期生	19名	2017年7月31日～8月7日 (8日間)	新吉、祥明大、江南大、建国大、水原女子大、又松大
第15期生	16名	2018年7月30日～8月6日 (8日間)	崇実大、祥明大、又松大、水原女子大、北京大、江南大
第16期生	16名	2019年7月29日～8月5日 (8日間)	水原女子大、又松大、江南大、ソウル女子大、極東大、永登浦障がい福祉館
合計	282名		

備考 2002年：サッカーワールドカップ日韓大会のため中止（学生ボランティア参加）

2009年：新型インフルエンザ流行のため中止

2013年：聖ヨゼフ園改築工事（新館）のため中止

2020年：新型コロナ流行のため中止

(3) 韓国社会福祉視察研修

ア 2004年視察

(ア) 研修期間 H16年7月24日(土)～26日(月)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(新吉総合社会福祉館・児童養護施設 安養保育院・韓国社会福祉協議会)

(ウ) 参加者10名 (本法人役職員8名、他社会福祉法人2名)

イ 2010年視察

(ア) 研修期間 H22年8月27日(金)～29日(日)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(社会福祉士協会・新吉総合社会福祉館

10周年記念セミナー・研修生との交流会(第1～9期生))

(ウ) 参加者12名 (本法人役員7名、学識経験者1名、他社会福祉法人4名)